

<b>第15回 第3分科会会議録（概要）</b>		<b>場 所</b>	新宿区役所第2分庁舎 ①-3・4会議室
<b>日 時</b>	平成18年1月26日 午後6時30分～午後9時00分	<b>記録者</b>	【学生補助員】 佐々山、大音
		<b>責任者</b>	区事務局（黒澤）
<p>会議出席者：47名 傍聴者0名 （区民委員：30名 学識委員：2名 区職員：12名 コンサル：2名）</p>			
<p>■配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 第3分科会（第15回）次第</li> <li>• 中間報告の資料作成のためのメモ</li> <li>• 第2ステップの検討テーマ</li> <li>• 中間発表会に向けて（第3分科会まとめ）</li> <li>• グループ発表に対する意見・提案一覧</li> <li>• 第3分科会（第14回）議事録</li> <li>• 新宿区民会議 第2回全体会（中間発表会）の開催について</li> </ul> <p>■進行内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 中間発表会に向けて</li> <li>3 閉会</li> </ol> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員、▲：コンサル</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> </ol> <p>○：皆さんこんばんは。第15回目の第3分科会を始めたいと思います。 （配布資料確認） （中間発表会に向けてのワーキンググループでの決定事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表順番、第3分科会は1番</li> <li>・ 時間は20分</li> <li>・ 発表者山下さん</li> <li>・ 当日9時45分までに集合。（一部お手伝いをお願いする方は9時に集合）</li> <li>・ 午後は各分科会でブースを設ける</li> <li>・ 当日の役割分担を次回（2月7日）に決める</li> </ul> <p>中間発表会のポスター・チラシが出来上がりましたので是非お持ち帰りください。ポスターについては、区設の掲示板に区のほうで掲示しますので、それ以外のところに掲示していただければと思います。また、チラシの方は、お知り合いを誘っていただくときにお渡しいただければと思います。ただし、団体などに配る場合は名簿に記入していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>			

2 中間発表会に向けて

- ◎ : こんばんは。今日の進め方について提案をさせて頂きたいと思います。縦書きの「中間報告の資料作成のためのメモ」を見ていただけますでしょうか。先日各グループのリーダーの方々と会議を持ちました。そのときに、このメモにちょっと近い、若干今回変えています、メモをお配りして今後のことを検討しました。第3分科会はすでにご案内の通り、まちづくり・防災・景観という大きなテーマを持っていますが、特に他の分科会と違うのはやはり最終的にハード系の事業も提案をきちっとする。要はいろんな安全安心の提案ですとか賑わいの提案ですとかあるわけですが、しかし、賑わいの話では第5分科会、福祉についても第1・2でやっています。それで、他の分科会の方が人数も多く主にやっているの、いろいろなアイデアが出ているかもしれない。しかし、第三分科会でハードのことだけを先にやったらつまらない話しか出てこないと僕は思ったので、きちっと防災とはどうあるべきか、緑とはどうあるべきか、福祉とはどうあるべきかということをはじめに議論して、最終的にはハードな提案に落とし込んで、地図の上にも描けるものは描く。具体的にここをこうしたい、ここに森を造りたい。何か抽象的に緑を増やしたいなど、そんなことだったら今でもやっているわけですから、具体的にこの河川を歩ける遊歩道にしたいんだというようなところまで書けるところ、そこがこの第3分科会の良い所だと思ったわけです。従って、今日はグループ討議のほぼ最後になると思います。従いまして今までのたくさんの議論を踏まえて、各グループ5つの具体的な、ひよっとしたら来年予算をつける、再来年予算をつける、これはあまり考えなくていいです。夢のあるもの5つのハード系の事業、それはそれぞれのグループの魅力と賑わい、歴史と文化ということ踏まえたハードな思案です。それを挙げてほしいと思っています。それを前回のグループリーダー会議でもう一つ表を作りまして、A3横の表です。縦に皆さんの9つのグループが載っています。横に全区、地区はとりあえず業務・商業・住宅と分けました。それから具体的にハードな整備といいますと、例えば道路や公園や河川、それから新宿区は沢山施設を持っています。地域センター、小中学校や児童館、ことぶき館、区役所など、こういった施設を例えば魅力と賑わいというところで議論したものを、公園にはこういう魅力、例えばこの公園、新宿中央公園にはこういう魅力を作りたい、この道路はこんな風に魅力と賑わいを創り出したいなど、それを具体的にプロジェクトとして作り上げて、今日できる範囲ですからそんなに詳細なものでなくていいです。今まで、そういうソフトな部分を議論しているわけですから、具体的にここというのを今日出して頂きたい。従って各グループの議論の中に、その上に書いてある全区や住宅などということ参考にして頂いて、例えば道路のところの一つプロジェクトがある、地域センターにも2つある、というような形で具体的に表を使いながら議論を進めて頂き

たいと思います。それで実はもうすでにグループリーダー会議で、これは配りませんが、リーダーの方々が今まで検討していただいた内容を踏まえて、多分この辺が重点的になるということで、丸を付けて頂いています。リーダーのいらっしゃる場所は後で僕なり窪田先生がお伝えし、事務局の方にお伝えしていただいて、議論と一緒に入りますので、そういう形で5つの枠とはいいません、1つの枠に5つ入っていてもいいので、とにかくその5つのプロジェクトを出していただけないでしょうか。それが第3分科会の骨になるのではないかと思うわけです。それを中間発表の時にどのようにまとめるかということですが、40ページの資料と当日のパワーポイントの発表と二つが我々に課せられた課題としてあります。まず、40ページの資料についてはこんな風に考えています。大きく本編と資料編というもの二つに分けます。本編については今、直前にお話した5つぐらいのプロジェクトを9つグループから出していただくと、40から50出てきます。その50ぐらいの提案を4章立てぐらいにシャッフルします。例えば魅力と賑わいから道路をこんなふうにしたい、という提案が出てくるとします。今度歴史と文化から道路をこんなふうにしたい、同じ道路の提案があるわけです。あるいは森の提案や公園の提案など、例えば公園の提案だったら防犯の問題やうるおいの問題から出てくる可能性があります。従って4、50出てきたプロジェクトを事務局と私共と発表していただく山下さんの中で、シャッフルして組立て直して4本立てか5本立ての第3分科会の柱を作ります。これが本編です。これは、例えば4章立てで、1章2ページだとしたら8ページぐらいで納まるかと。これがパワーポイントに連動していて当日本編のことを発表いたします。もう一つの資料編は、今まで9つのグループでかなり時間をかけて議論してきましたので、その9つのグループの検討結果、検討経過と検討の内容について、きちっとレポートを出していただきます。今のところ1グループ4ページと考えていますが、グループによっては4ページいないというところもあるようなので、一部分2ページのグループが出てくると、本編の方が少しボリュームがプラスされるかもしれないということでもあります。本編の方は繰り返しますが、事務局と私、窪田先生それから山下さんを中心に作成をし、資料編の方は各グループのグループリーダーさんが2ページあるいは4ページの資料を作成し、それを合体したものを当日集約して他の分科会の方々にも見ていただく。しかし、当日は20分しかありませんから資料編についての詳細な発表はいたしません。あくまでもこの検討結果に基づいて、各グループから提案されてきた内容を分かりやすく組立て直して、当日初めて聞く人にわかりやすく伝えることが目的になりますので、ちょっとだけ組立て方を変えさせていただきたいということでもあります。そこで各章、これは全く僕個人の勝手な考えですので変わっても構いませんが、例えば第1章「安全安心、減災、防犯、ユニバーサルデザイン」で各グループの番号が書いてありまして、

グループ3, 4, 6, 8の提案というのはこの辺に入るといつもりで入れています。例えば一つ二つ事例を入れております。これは単なる例えであります。例えば、子育てや高齢者の話が住まい・暮らしの方で出ていたと思いますが、僕は住まい・暮らしで子育てや高齢者、ユニバーサルデザインなどが提案されているので、子育て共助の集合住宅とはどんなものがありえるのか、一步踏み込んでプロジェクトとして提案していただく。これは区営住宅でこんなものを作って良いのではないか、民間のマンションでこういうものも入れても良いのではないのか、あるいは小規模の子育て共助のグループホームをつくることに助成しても良いのではないかなど何か具体的な生活・暮らしのところから、住宅に対するプロジェクトや提案をしていただくと、それに基づいて山下さんの方で少しうまく編集をしたり、あるいは私共がそれに近い事例を当日写真で入れるなどいろんな演出ができますので、そういう提案を今日していただきたいと思います。それは第2章でも第3章でも共通です。第3章のところで僕がイメージしたのは、賑わい・魅力のグループで新宿通りの歩行者モール化というのが具体的に提案されました。それから独立行政法人の話がありましたが、ちょっとそれは理解できなかったのですが、新宿版の新しいB I Dじゃないかというようなことで、これも一つの提案になるかもしれない。それから第2章が抜けましたが、歴史と文化から新宿の森というとても大きな夢のある提案が出されていたので、これも第2章のところに入れることができるのではないかと書いて書きました。あくまでもこれは前回皆さんの提案をお伺いして、こんなところではないかと思って書いたものがありますので、今回沢山あがってくることをお願いしたいと思います。こういった形で中間発表を一度終えれば、その他の分科会からもっといろいろなハードやソフトの提案がされたときに、どこに付加したらいいだろうか、あるいは、ちょっとそれは矛盾しているのではないだろうかというような事が中間発表以降議論しやすいのではと思ひましてこういったものを作成してみました。ですからこのメモとこのA3の表を少し参考にさせていただきながら、加えてこれまで議論していただいた内容と、若干窪田先生と私の方がアドバイスをした内容、それからこの各グループの議論を始める際に皆さんから出していただいたキーワードも思い出しながら、もう一度ハードな事業の提案を今日出していただけたらと思います。大体今7時ちょっと前ですから、今日は各グループでのハード系の事業の提案についての議論を8時15分ぐらいまでに議論していただいて、5つの事業、名称だけでも、どんなことをやったか発表して、内容は議論できないと思いますが、発表していただいて、それをグループリーダーの方が次回また私共グループリーダー会議で打ち合わせますので、それを持ち寄ってこの組立て方をやったものをもう一度この全体会の方に提案したいというスケジュールを考えています。分かりにくい説明もあったかもしれませんが、なるべく私も各グループの中に入って、

今日は議論に参加したいと思いますので、宜しくお願いいたします。大体私の考えは伝わったでしょうか。何か分からないことがあればいつでも聞いていただくなり、あるいはグループリーダーの方は前回議論いたしておりますので、分かるかと期待しております。よろしければ会場が別れて申し訳ありませんが、お願いいたします。

(グループ討議)

[各グループの報告]

① 魅力と賑わい

i. 新宿駅西口広場の整備

新宿駅から中央公園まで歩ける地上の道、広い広場の確保、西口バスターミナルの地下整備

ii. 新宿駅東口広場の整備

東西自由通路の設置、ゆったり楽しめる公共広場

iii. 新宿通りのモール化

靖国通り・明治通り・甲州街道に囲まれた地域を歩行者優先道路にする

iv. 情報発信のまち化（ユビキタス）

v. 神田川沿い花見の散歩道

② 歴史と文化

i. 新宿の森

7つの森＋14の森、歴史地区の創設・整備

ii. 土地利用

業務＋地場産業＋住宅の融合⇒市街地地場産業の総合設計制度

iii. 道路

路地を活かした街づくり、高速道路の地下化、歴史街道の整備

iv. 河川

水と緑の環の整備、外堀の再生、玉川上水の復活

v. 公共建築

文化的シンボル性を持った新宿駅の整備、歴史的シンボル性を持った区役所の整備

vi. その他

アートミュージアムの整備、歴史・文化プレートの整備

③ 住まい・暮らし

i. ライフスタイルの変化にあわせた住み替え可能な集合住宅の提案

ii. 地域内での住み替えをスムーズに行うためのシステムの提案

- iii. 住宅とサービス施設（ex. 診療所）の融合スタイルの提案
- iv. 心の遊歩道の整備
- v. グループホーム
- ④ 超高層建築
  - i. 西新宿の新たな超高層街区の形成
  - ii. 周辺への波及効果のある空間  
ミニ上野公園、神社を足元にいれる
  - iii. 水道道路拡幅と現行15mを30mに広げる
  - iv. 改札口の東西自由通路化
  - v. 官民の複合超高層ビル（西新宿）  
病院、高齢者施設、児童館、スポーツ施設等
- ⑤ みち・ネットワーク
  - i. 車にとって不便なまち  
公共交通の利便性を高める、車両進入禁止の場所・時間の設定
  - ii. 自転車が通れるまち・通りづくり
  - iii. パーク&ライドの仕組みを作る
  - iv. 6m以下の道路の作り方  
くねらせる、歩道をつくりながら一般自動車は通れず緊急車両が入れるようなバリケードをつくる
  - v. 駐車場の工夫  
場所、料金
- ⑥ 安全・安心
  - i. 耐震不燃化  
区内木造密集地域の耐震診断の無料化
  - ii. 防災アドバイザー（サポーター）の支援、教育
  - iii. ライフライン（電気・ガス・水道）の耐震化、電線地中化の推進
  - iv. 多目的防犯・防災スーパー防犯灯（公園内）の設置  
公園、児童遊園
  - v. 災害用下水道型トイレの増設  
現在30カ所から140カ所へ
- ⑦ まちなみ・景観
  - i. 電線地中化とライフアシュアランスストリートの提案  
西落合をモデルに
  - ii. 道路不正使用（看板、ゴミなど）に対する対策・システム  
大久保地区
  - iii. まちかどアメニティスポット（百人町ポケットパークのような）をつくる

- iv. 妙正寺川流域を文化的アピールも含め、賑やかなまちにする
- v. 新宿通りをモデル道路として整備  
街路樹、駅前周辺のモール化、自転車専用道
- vi. 大規模緑地（落合崖線緑地、新宿御苑など）周辺のにじみ出し緑地の整備  
ヒートアイランド化の防止
- vii. 景観計画の策定  
各々小さい地区での作成→新宿区が景観行政団体として景観計画を実施

⑧ うるおい・公園

- i. 新宿駅西口ロータリーの空中公園計画  
動線を良くする、ビルから見下ろして心が和む、オープンカフェでサラリーマンが休憩する
- ii. 土のスクールパーク  
小学校の校庭を公園化していく、管理は地域と学校で行う
- iii. 高齢者住宅と公園  
世代を超えた公園、地域のパブリックスペースの提供、高齢者は家庭菜園が出来るなど
- iv. 公園のプレイリーダー  
時間の設定、決まった人がいて子供の安全にも配慮できる
- v. 民有地のポケットパーク化  
民有地の道側をセットバックしてパブリックスペースとして利用→お年寄りが休める

⑨ 支えあい・仕組み

- i. 拠点の取組み  
駅と周辺地区の関係性（特にターミナル駅）、回遊性やつながりの強化
- ii. 地下鉄の駅と地上の駅をつなぐ工夫（特に新宿駅東口）  
サンクンガーデン、視線をつなぐシンボリックなオブジェの導入
- iii. 新宿駅  
西新宿の再開発に伴う地元地権者の出資による無料バスの導入や回遊性を高める民間主導のイベント、新宿駅の東西をつなぐ軸線（大ガード周辺の空間の課題）、新宿駅南口と周辺地区を結ぶ軸線の設定
- iv. 学校改築
- v. 天空率関連の指標の充実、超高層のファサード問題、アイストップ空間を生かした景観資源の整備

○： 次回は2月7日火曜日、6時30分から第一分庁舎7階研修室になります。よろしくお願いたします。

3 閉会

